

令和6年度 第2回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

1 日時 令和7年2月6日（木）10:00～12:00

2 場所 九州森林管理局大会議室

3 議事

- (1) 令和6年度第1回保護林管理委員会等における意見概要と対応について
- (2) 重点的対策実施17保護林における取組について
- (3) 令和5年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について
- (4) 令和6年度保護林モニタリング調査結果について
- (5) 令和6年度保護林モニタリング簡易調査結果について
- (6) 令和7年度保護林モニタリング調査実施箇所（案）について
- (7) その他

弥生杉倒伏に伴う周辺の環境整備等の状況について

4 議事の概要及び主な意見

(1) 重点的対策実施17保護林における取組について

- ・ 保護林周辺でのシカ捕獲の情報については、各機関の取組の評価ができるよう、捕獲目標頭数と捕獲実績を見比べることができる資料を用意してほしい。
- ・ 森林総研では、人工林のシカ柵の破損や補修履歴などをチェックしてデジタルデータで記録するツールの開発を林野庁の受託事業で取り組んでおり、いずれ情報提供できると思うので活用してもらいたい。

(2) 令和5年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書について

- ・ シカ捕獲に関し、自治体と連携した取組を実施している箇所については、具体的に記載してほしい。
- ・ 白髪岳の「生態系維持回復事業計画」について、ぜひ環境省や関係機関と連携した取組を進めてもらいたい。

(3) 令和6年度保護林モニタリング調査結果について

- ・ 福岡県や佐賀県のように近年シカの侵入が確認されている地域については、今後も個体数が増加していく恐れがある。シカの個体数の増加プロセスは非常に速いことから、現在シカ被害が見られていない保護林についても、定期的な見回りを実施し、シカ被害の発生状況に

応じて臨機応変な対応を取るべき。

- ・ 霧島山生物群集保護林において、火山ガスの影響で大規模な枯死が見られたプロットについては、火山被害後の植生の再生プロセスを確認するためにもモニタリングを継続してほしい。霧島でも生態系維持回復事業が実施されているはずなので、環境省、林野庁、自治体など関係機関の役割分担や取組について記載してもらいたい。
- ・ 九州全体でのスズタケの開花枯死の情報やナラ枯れの被害状況なども整理して記載してほしい。
- ・ 市房山周辺の3保護林（市房モミ等希少個体群保護林、市房ツガ等遺伝資源希少個体群保護林、市房ゴイシツバメシジミ希少個体群保護林）の統合については、1つに統合して生物群集保護林に設定するなど、山頂から山麓までの範囲を一体的に保護管理区域に設定し、重点的に対策を実施することが望ましい。
- ・ 中部局では木曽で「回復型事業」を実施しているが、市房山もこの事業の対象とするなど、シカ対策を重点的に行き、モニタリングも緊急事態の保護林として2～3年おきに実施するなど特に重点的な対策を行う箇所としてはどうか。

（4）令和7年度保護林モニタリング調査実施箇所（案）について

- ・ 令和7年度保護林モニタリング調査について、実施する保護林の箇所、調査内容や、植生保護柵の点検・修理、柵内外での植生調査を引き続き実施することなどを説明し、承認された。



《配布資料》

【議事次第・出席者名簿】

【資料 1】 令和 6 年度第 1 回保護林管理委員会等における意見概要と対応について

【資料 2-1】 重点的対策実施 17 保護林における柵設置及び捕獲等の計画・実施状況等について

【資料 2-2】 重点的対策実施 17 保護林における植生保護柵設置状況一覧表

【資料 3】 令和 5 年度保護林モニタリング調査実施保護林に係る管理方針書（令和 6 年度第 1 回委員会意見反映版）

【資料 4-1】 令和 6 年度保護林モニタリング調査結果（一覧表）

【資料 4-2】 令和 6 年度保護林モニタリング調査結果（概要）

【資料 4-3】 九州森林管理局保護林シカ被害レベル（令和 6 年度末時点）

【資料 5-1】 令和 6 年度保護林モニタリング簡易調査について

【資料 5-2】 保護林モニタリング中間現地簡易調査チェックシート

【資料 6-1】 令和 7 年度保護林モニタリング調査 調査箇所及び調査項目（案）

【資料 6-2】 保護林モニタリング調査計画一覧表（令和 7 年度）

【資料 7】 弥生杉倒伏に伴う周辺の環境整備等の状況について

【参考資料 1】 九州森林管理局保護林管理委員会運営要領

【参考資料 2】 保護林制度の改正について

【参考資料 3】 令和 6 年度第 1 回九州森林管理局保護林管理委員会議事概要

令和6年度 第2回九州森林管理局保護林管理委員会 出席者名簿

	氏 名	所 属 ・ 役 職	
委 員	伊神 裕司	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長	
	片山 歩美	九州大学農学部 准教授 宮崎演習林 副林長	WEB
	佐藤 美和子	株式会社佐藤木材 取締役	WEB
	鈴木 英治	鹿児島大学 国際島嶼教育研究センター 特任教授	
	千吉良 治	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場 育種課長	
	藤掛 一郎	宮崎大学農学部 教授	
	山川 博美	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ 主任研究員	
	横山 隆一	公益財団法人 日本自然保護協会 参与 NPO 法人 奥利根自然センター 理事長	
九州 森林 管理局	橘 政行	局長	
	池田 秀明	計画保全部長	
	魚住 悠哉	計画課長	
	下田 勝也	計画課 自然遺産保全調整官	
	濱本 敬士	〃 経営計画官	
	海野 太一	〃 生態系保全係	
	飯星 明	保全課 野生鳥獣管理指導官	
受託者	中園 朝子	(株)九州自然環境研究所 所長	
	城戸 美智子	〃 主担当技術者	
	永野 春菜	〃 副担当技術者	

(委員50音順、敬称略)